



かめおか 市議会だより



亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

2023年(令和5年)1月31日

ただいま、おかしらって
思いあえるまでに
みんなで広げよう。
シトラスリボンプロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

from ehime

亀岡市議会は、シトラス
リボンプロジェクトに賛同
しています。

市長へ提言

ごみ収集車の早期補充を

環境市民厚生常任委員会

多様性を認め合う施策の充実を

LGBTQ+政策研究会

5ページ

南桑中学生と本音トーク

4ページ

環境・福祉・未来の亀岡

条例可決

かめおか児童クラブとしてさらに充実へ

放課後児童会

かめおか児童クラブ

6ページ

かめまるランド

市民優先利用へ

6ページ

補正予算可決

第5弾

かめおか応援クーポン

6ページ

子育て応援
おうちで

未就園児へ10万円給付

6ページ

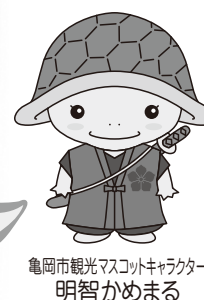
令和四年

十二月議会

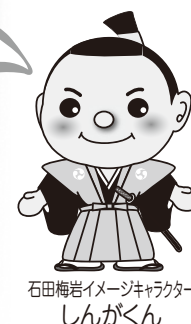


かめまるくんと しんがくんの 議会とーく

市民生活や経済活動を応援する
補正予算や条例が決まったよ



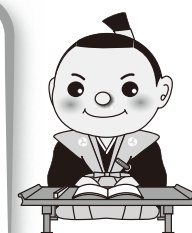
いよいよ第17期の議員も最後の議会になったね。一般会計補正予算は大規模39億円！



大きな予算の主なもの、コロナの予防接種や、まだまだ売り上げが落ち込む商工業や、物価の高騰で影響を受ける市民生活への支援だよ。



第5弾となる5000円のかめおか応援クーポン事業はうれしいね。



「市民にしっかりと行き渡るようにしてほしい」という意見があったよ。ほかにも、原油価格や物価の高騰の影響を受ける運送事業者や介護施設への支援、未就園児1人当たり10万円の補助もあるよ。



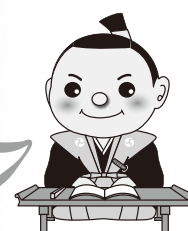
新しい条例の中には、市民にとって役立つものもあるんだよね。



そうそう。放課後児童会が充実して「かめおか児童クラブ」になることや、市民がかめまるランドを利用しやすくなるための市外利用者の料金設定、市立病院での訪問看護の新規事業などがあったよ。



議員にとって17期最後の一般質問や常任委員会審査だったね。



一般質問の内容は各議員の想いや取組が強く反映されていたね。各常任委員会に加えて各特別委員会も開催され、活動のまとめが行われたよ。17期の議員の皆さん、ご苦労様でした。



2年間の活動をふり返って



コロナ制限の中

こちらから出向いて対話を

広聴活動

双方向の活動さらなる充実へ

議会だよりは常に新たな挑戦を

広報活動

広報広聴活動のページ



城下町インタビュー



南丹高校生との交流

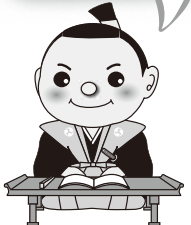


畑野町まち歩き



街頭インタビュー

感染対策のために中断している、自治会や各種団体・グループとの「わがまちトーク」も再開していきます。



集まることができず、歯がゆい思いをした2年間でしたが、積極的に会いに行きました。テーマを決めての街頭インタビューや中学生との交流は、市政を新鮮な目線で見直すきっかけとなりました。市民の皆さんからのご意見を集める創意工夫を今後も続けていきます。



週刊誌風の表紙や、かめまるくんと しんがくんの「議会とーく」は、「ユニークで興味深い」と、広報紙情報の全国誌でも紹介されました。

市内外の方からも声をお寄せいただいています。

読みやすくなった。市民に分かる言葉で伝えてくれている。

議員がどのように編集されているのか話を聞いてみたい。(他市の市議)

「読んでもらってナンボ！」を合言葉に、「読んでみたい」と思える議会だよりを目指して常に紙面改革に取り組んできました。また、スマートフォンなどの普及に呼応し、QRコードを活用して、文字だけでなく映像などのインターネット配信も進めています。しかし、基本は「さらに分かりやすく読みやすい紙面づくり」です。これらを来期の議会にも引き継いでいきます。

Topics

南桑中学校で生徒と交流

4ページへ

委員会のYouTube動画配信を開始しました

16ページへ

広報広聴会議9名の委員からの一言を15ページに掲載しています。

15ページへ

亀岡市議会改革を前に進めます さらに提案する議会へ もっと開かれた議会へ

中学生⇄議会 本音トーク

南桑中学校で「市議会議員の皆さんと話そう会」

昨年11月8日に、広報広聴会議の委員が、南桑中学校の3年生全員と交流しました。議員が自己紹介と議員の仕事や議会の役割を説明した後、学年ごとの学習テーマである福祉や環境についての質疑応答を行いました。3クラスに分かれてからは、「30年後の亀岡市」をテーマに、意見交換を行い、中学生の皆さんから多様な意見や思いが出されました。



みんな熱心に話していたよ。



スタジアムのように誰もが楽しめる施設（映画館やアミューズメント施設など）を分散して建設し、いろいろな場所にぎわいが生まれるまちに！

亀岡市は環境により取組を積極的に行っているため、新しい技術を使いながら、亀岡市ならではの自然を未来に残していきたい。

サンガの試合などで観光客が増えているので、新幹線を誘致したり、電車の本数を増したり、交通面を発達させて、より多くの観光客を呼び込みたい！

30年後は45歳で、子育て世代になっていて、親は高齢者になっている。これからの亀岡を、どの世代も住みやすいまちにするため、子どもや高齢者の福祉が充実したまちになってほしい。

30年後の亀岡は？

生徒の感想より

悩みや人口を増やす提案に耳を傾けて検討してもらえたと、予算的な困難さも教えてもらえた。
議員に出会ってイメージが変わった。政治に興味を持ったのは僕だけじゃないと思う。
今の亀岡を輝かせるだけでなく未来を思ってお仕事されているなど感じた。
知らないところで自分がどれだけ大切にされているか分かった。
誰かの、何かの意見が採用されたらいいな。
18歳になったらちゃんと選挙に行こうと思う。
自分のまちのいいところを見つけて、まちをよくする自覚をもって高校生や社会人になりたい。

質疑応答

市の福祉の取組と今後の展望は？

高齢者の健康施策に力を入れている。「通いの場」で健康づくりの支援を充実させたい。

特に力を入れている政策は？

市は「子どもファースト」を宣言した。医療費無料など、みんなで皆さんを応援する。

プラごみゼロ宣言の具体的な成果とその他の取組は？

マイバッグの持参率が、スーパー98.2%（10月末時点）コンビニ94.4%（7月末時点）でみんなが協力している。ペットボトルの回収BOXの設置など。

取組の苦労と、今後やってみたい環境の取組は？

レジ袋禁止を理解してもらうことに時間がかかった。今後はごみを捨てないことを徹底する取組ができたらよい。

議会⇄市長 政策を提言

LGBTQ+に関する政策研究会



LGBTQ+に関する政策研究会提言書提出

一昨年の、第一次提言の後、同研究会は、LGBTQ+に関する施策の一層の推進を目指し、さらなる調査研究や意見交換、他市への行政視察などを行いました。それらを踏まえ、シンボルマークを活用した啓発やイベント、相談活動や制度の充実、学校教育の環境整備などを取りまとめ、昨年11月28日に、第二次の政策提言を市長に提出しました。

「LGBTQ+に関する政策提言書（第二次）」はこちらからご覧になれます。



環境市民厚生常任委員会



環境市民厚生常任委員会提言書提出

昨年10月に埋め立てごみ収集車が火災で使用できなくなったため、同委員会は、11月15日に「ごみ収集車両の火災事故に伴う新規車両の確保を求める提言」を市長に提出しました。

提言書の内容はこちらからご覧になれます。



本会議での討論

※討論の内容はこちらをご覧ください→



議員名	議案		賛成 / 反対	議員名	議案		賛成 / 反対
田中 豊 議員	第9号議案	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正	反対	赤坂マリア 議員	第1号議案	R4一般会計補正予算(第4号)	賛成
	議第1号議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	反対	平本 英久 議員	議第1号議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成
木曾 利廣 議員	第1号議案	R4一般会計補正予算(第4号)	賛成	松山 雅行 議員	議第1号議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	反対

全員賛成で可決した議案

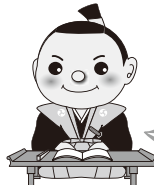
	件名	結果
総務文教	R4一般会計補正予算(第4号)	可決
	一般職員の給与に関する条例の一部改正	//
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	//
	職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備等及び経過措置に関する条例の制定	//
	個人情報保護法施行条例の制定	//
	かめおか児童クラブ事業の実施に関する条例の制定	//
	東別院グラウンドに係る指定管理者の指定	//
環境市民厚生	R4一般会計補正予算(第4号)	//
	R4国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
	R4休日診療事業特別会計補正予算(第1号)	//
	R4介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
	R4後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	//
	R4病院事業会計補正予算(第2号)	//
	印鑑条例の一部改正	//
	かめまるランド条例の制定	//
産業建設	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	//
	R4一般会計補正予算(第4号)	//
	R4水道事業会計補正予算(第1号)	//
	R4下水道事業会計補正予算(第2号)	//
	都市公園(亀岡駅北1号公園ほか3公園)に係る指定管理者の指定	//
付託省略	損害賠償額の決定について	//
	市議会個人情報保護条例の制定	//
	市議会委員会条例の一部改正	//
	市議会会議規則の一部改正	//
	消費税インボイス制度の実施の延期を求める意見書(案)	//

※意見書の内容はこちらをご覧ください→



賛否の分かれた議案

○賛成
×反対、態度保留など



各議案の内容は、
亀岡市ホームページに
掲載しているよ。

賛否の分かれた議案

○賛成

×反対、態度保留など



付託先		件名・結果	会派名 議員名	新 清 流 会							緑 風 会				共 産 党 議 員 団				公 明 党 議 員 団					
				浅田晴彦	大塚建彦	平本英久	小川克己	奥野正三	齊藤一義	西口純生	菱田光紀	石野善司	木村勲	赤坂マリア	三宅一宏	松山雅行	木曾利廣	竹田幸生	長澤満	三上泉	田中豊	並河愛子	富谷加都子	山本由美子
総務文教		特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	×	×	○	○	○
—		議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	—	×	×	○	○	○

※福井英昭議員は、議長職のため表決権はありません。
※三上泉議員は、12月19日(議案採決日)の会議を欠席しています。

総務文教常任委員会

○放課後児童会、さらなる充実へ

一般会計補正予算(第4号)
可決(全員賛成)
かめおか児童クラブ事業の実施に関する条例の制定
可決(全員賛成)

・放課後児童対策経費

756万5千円増額
「子どもファースト宣言」の一環として、従来の放課後児童会から、かめおか児童クラブに名称を替え、平日開設時間の延長や休日保育の拡大、一家庭二人目以降の負担金の無料化など、保育サービスの拡充を図る。

【主な質疑】
問 保護者にとっては、働きやすい環境となるが、長時間児童を保育することにより、中には、ネグレクトの事象に直面する可能性もある。どのような支援体制を実施するのか。

答 支援員や支援補助員の研修を実施し、ネグレクトなどの事象がないか児童の様子を十分に観察するとともに、保護者と連携する中で、教育委員会として取り組む。

問 児童に対して、十分なフォローができるように、民間との連携は考えていないのか。

答 他市の事例では、民設民営、公設民営などさまざまな形で民間との連携が実施されており、今後、児童にとって何が一番よいのかを考え、導入の可能性について研究する。

【指摘要望事項】
柔軟な募集方法により支援員や支援補助員の人材確保に努めること、児童を最優先とした保育環境の整備や見守り支援体制の構築を図ること、適宜議会へ状況報告を行うこと。

環境市民厚生常任委員会

○子育て世帯に物価高騰への支援

一般会計補正予算(第4号)
可決(全員賛成)

・子育て緊急支援給付金経費

8690万円増額
【おうちで子育て応援事業】(保育課)
新型コロナウイルス感染症の影響や不安定な社会情勢による物価高騰に直面する中、保育所などへ就園していない児童を養育する世帯の支援を行うための給付金を支給する。
【支給対象】
令和5年1月1日現在において、保育所(園)、こども園、幼稚園、企業主導型保育園などに在園していない児童

【給付額】
児童1人当たり10万円

【意見】
受付期間が短いため、SNSなどを活用するなど、広く周知する方法を工夫すること。

○市民が利用しやすい環境を
かめまるランド条例の制定
可決(全員賛成)

かめまるランドは、ガレリアかめおか内にあり、利用は予約制である。設置している遊具が人気で、天候を気にせず遊べることから、市外からも多くの方が来られている。特に、休日の予約が取りにくい状況であることから、市民の優先利用や安定的な施設運営を図るため、条例を制定し、令和5年4月1日から、市外に住所を有する18歳以上の利用者から料金を徴収する。

産業建設常任委員会

○亀岡をクーポン事業で応援

一般会計補正予算(第4号)
可決(全員賛成)

・商工業振興対策経費

1億8711万1千円増額(他1事業含む)
新型コロナウイルス禍における事業者および市民生活支援を目的に、第5弾となるかめおか応援クーポン事業を実施する。今回は、レジ袋禁止条例などにご理解・ご協力いただく事業所支援も目的に、大規模店舗などでもクーポン券利用が可能。
【主な質疑・意見】
問 クーポン券を配布する世帯の定義は。
答 複数世帯が一つ屋根の下で衣食住をとるにしている場合は、1世帯と見なす。
【意見】
クーポン券を多くの人に利用してもらえように、工夫していただきたい。

○指定管理者のチェック体制を
【主な質疑・意見】
問 合同会社ビバ＆サンガの実績は。
答 現在、サンガスタジアムの指定管理者である。
【意見】
今後も実績を見ていく中で、亀岡市として指定管理者に対して、しっかりとチェック機能を果たしていただきたい。



12月議会では、22人の議員が一般質問(※)を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)なお、他の質問項目については、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。

(※)一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長は、一般質問を行いません。

傍聴のご案内とインターネット中継

亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと(傍聴)ができます。

○本会議当日に市役所8階議場までお越しいただき、傍聴届に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

○手話通訳などをご希望される場合は、会議の1週間前までに議会事務局にご相談ください。

◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非接触体温計による検温、アルコール消毒液の利用や手洗い、マスクの着用、咳エチケットなどにご協力をお願いします。

◆発熱されている方、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。

※インターネットでも本会議のライブ中継・録画をご覧いただけます。

亀岡市議会 議会中継

検索

※議員の写真右下のQRコードを読み取ると、その議員の動画と会議録を見ることができます。

不登校児童生徒対策として、居場所拡大やオンライン学習の充実を



富谷 加都子 議員

生配信する考えは。

富谷 ①小・中・義務教育学校における不登校児童生徒数の現状は。②別室登校児童生徒への学習支援の考えは。③適応指導教室などを市街地へ増室する考えはあるのか。④学級授業をオンラインで

教育長 ①小学校および前期課程で76名、中学校および後期課程で98名②今後も、個別に学びの保障ができる体制を整備していきたい。③学習以外の体験場所や指導員確保に課題があり難しい。④生配信は、授業形態や流れが分かるので、実施できる方向で努力する。

妊娠・出産から乳幼児期にかけて伴走型支援の拡充を

富谷 今後展開される出産・子育て応援交付金事業に育児関連用品のクーポン券や各種支援サービスの提供などを組み入れる考えはあるのか。

市長 将来的には出

産・育児関連用品などの購入が便利に行える方法や家事・育児支援サービスに利用できる仕組みづくりを検討し、他自治体や府と広域連携し効果的なサービスを提供していきたい。

今後の新火葬場整備の計画は



木曾 利廣 議員

木曾 亀岡市新火葬場整備基本計画に基づく今後の取組は。

市長 令和元年度に計画を策定し、火葬場用地と隣接土地との境界を明確にするため、境界確定を実施している。しかし、亀岡財産区から境界立会いの協力が得られないことから、土地の筆界を決めるため、京都地方法務局に筆界特定申請を行い、11月29日に法務局から申請に伴う公告が行われた。令和7年度の完成であったが、時間を要するため、スケジュールを見直し、地域の

木曾 この事業の進捗は、平成7年から28年間にわたる課題である。当時、谷口市長が決断し、地元同意を得て進められ、反対訴訟もあったが、亀岡市が勝訴している。高齢化が進む中、火葬場の需要は増加すると想定されるが、市民生活に関わる住民サービスを安定的に提供するためにも、早急に整備する必要があり、と考えるがどうか。

市長 新火葬場は炉を5基設置し、動物火葬炉の設置も計画している。整備検討審議会でも余部町丸山が一番の適地だと示されたので、しっかりと進めていきたい。

介護保険改定に地方の意見の反映を



長澤 満 議員

長澤 共産党議員団は「くらしのアンケート」を実施した。その中で「介護負担の軽減」の要望が多い。国は介護保険の改定を検討するが、その中止を求めている。

市長 介護保険制度の持続可能な運営と制度の根幹に関わるため、国の議論を注視する。

長澤 アンケートで「移動しやすい公共交通」の要望も多い。どう充実していくか。

コミバスなど地域公共交通の充実を

市長 次期計画策定時に市民ニーズを把握し、地域主体型交通を含め、取り組む。

長澤 JR4駅を結節点に補完策が必要

市長 公共バスには、国・府の補助金の条件もある。選択の観点を含め、免許返納者の期待など、見極めながら検討する。

放課後児童会の運営方針は



大塚 建彦 議員

点から、事業の一部を民間事業者に委託してはどうか。

大塚 子どもファースト宣言の一環として、放課後児童会の一家族2人目以降無料化や時間延長、土・日曜日の実施が行われる予定であるが、円滑な運営の観点から、

教育長 子どもの健全育成のため、内容を充実していきたいと考えているが、安定して良質で持続可能な運営体制が求められることから、民間委託については、他市の事例などを参考に慎重に検討していきたい。

亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想でにぎわいを

大塚 JR亀岡駅から南郷公園までのシンボルロードは、駅南地区のにぎわいを創出してくれると確信しているが、今後の見通しと所見は。

市長 沿道のまちなみ形成や地域活性化に資する道路になる

よう、活用ルールなどを検討する際には、利用者として想定される地元商店街やキッチンカー事業者など意見交換を重ね、魅力ある場が創出できる、にぎわいイベントの実施につなげたい。

ふるさと納税、30億円を目指し着実な推進を！



藤本 弘 議員

藤本 令和3年度の亀岡市へのふるさと納税額は32億円となり、初めて30億円を突破した。今年度の

市長 令和4年12月6日現在で22億2685万円、対前年度比では1.1倍の増加、今年度末には31億7600万円を見込んでいる。

南つつじヶ丘外周道路の歩道整備を早急に！

藤本 南つつじヶ丘西側外周道路の京都縦貫自動車道の陸橋から大葉台1丁目のさとう整形外科医院までの両側の歩道の傷みが激しく、街路樹の根が歩道に盛り上がり大変危険である。早急に工事をする必要はあるが、予定はあるか。

まちづくり推進部事業担当部長 今年度は、桜台公園前バス停から西側外周道路の京都縦貫自動車道までの約350メートルの歩道の整備を実施している。引き続き計画的に歩道修繕を行うとともに、特に危険な箇所については緊急修繕などを行い、良好な歩道の維持に努めていく。

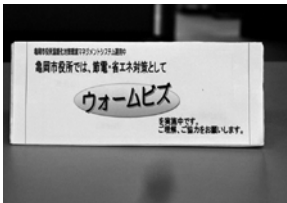
市庁舎内におけるウォームビズの実施を



浅田 晴彦 議員

浅田 電気料金が高騰する中、この冬の節電の試みとして、東京都庁で実施されているウォームビズを本市でも実施してはどうか。

市長公室長 ウォームビズは、地球温暖化対策の一環として、冬の暖房温度設定の適正化と、その温度に適した取組を行うことであるが、現在の物価高騰や、今後の電力需給の逼迫が懸念されていることから、その対策の一つとして、有効な手段であると考えている。東京都の職員がウォームビズを着用し



市庁舎内ウォームビズ実施中
(一般質問後に設置)

放課後児童会↓「かめおか児童クラブ」の拡大・充実を



木村 勲 議員

木村 ①かめおか児童クラブの利用希望アンケートの結果は。②余裕がある体制にするためには、支援員が何人必要なのか。③民間へ委託する考

大井町南部土地区画整理事業地の環境整備を

木村 ①国道9号カインズ北東側交差点に右折矢印信号を設置する予定は。②カインズ西側住宅街に横断歩道を設置する予定は。③エディオン東側住宅街に街路灯を設置する予定は。まちづくり推進部長 ①公安委員会で設

社会保障をはじめとした暮らし支援の底上げ策の強化を



田中 豊 議員

田中 日本共産党亀岡市議会議員団は、去る11月11日に「2023年度亀岡市予算に対する重点要求書」を出した。約3年近くにも及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大、異次元の金融緩和、異常な物価高、円安のもと、市民の命と暮らしは、かつてない深刻な事態となっている。市民のなりわいと亀岡市の地域経済に対して、これまでになく影響を及ぼしているが、現状をどのように認識しているのか。

田中 認識は一致している。住民福祉を増進するためには、市民や事業者のなりわいや暮らしを支えていくことや地域内再投資の循環型経済政策を行うことが非常に大事である。また、社会保障をはじめとした暮らしの支援の底上げ策を強化し、地域で住み続けられる条件を整え、雇用を生み出すことを求める。

市長 新型コロナウイルス禍に加え、物

選挙人の利便性を図るため、不在者投票用紙のオンライン請求の導入を



山本 由美子 議員

山本 選挙期間中に出張や旅行などで他の市区町村に滞在している場合、マイナバーカードを使って不在者投票の投票用紙をスマートフォンやパソコンからオンライン請求するこ

とができる制度がある。本市では原則郵便での請求となり、封筒や切手の準備などの手間と時間がかかっていることから、マイナポータルのびったりサービスを活用したオンライン請求を導入する考えは。選挙管理委員会委員長 できるだけ早く、オンラインで投票用紙などが請求できる制度を導入する。

加齢性難聴者の補聴器購入に公的補助制度の創設を

山本 加齢に伴い難聴が進むことで孤立化や認知症につながる懸念されている。聞こえの改善には補聴器の使用が欠かせないが、購入費用が高額なため、使用をためらう人もある。補聴器購入に

対する公的補助制度導入の考えは。

健康福祉部長 全国一律の基準で実施されるのが望ましいと考えており、国による公費助成制度の創設も含め、動向を注視していきたい。

JR亀岡駅以北の増便を



小川 克己 議員

小川 JR嵯峨野線京都・園部間の昼間の便が減便され、乗り遅れると1時間も待たなければならず、亀岡駅以北の駅を利用している市民は不便を感じている。今後のまちづくりに影

響が出ないよう2市1町で連携し、以前のダイヤに戻すよう再度要望する考えは。市長 JR西日本に対し、市や議会、各種団体から要望書を提出したことによって、平日では、当初の減便計画から4便の緩和調整を行っていた。地域住民の利便性向上に向け、継続して要望していきたい。

ガレリアかめおかの駐車場拡充を

小川 現在のガレリアかめおかの利用状況を鑑みて、駐車場の拡充が必要ではないか。また、生涯学習施設として長寿命化の取組や、舞台発表、学生が学べる場所を拡充する考えは。生涯学習部長 駐車

福祉分野における重点政策とは



竹田 幸生 議員

竹田 桂川市長が市長に就任され、8年目を迎えているが、福祉分野(子育て・高齢福祉・障がい福祉)で重点的に取り組んだ内容は。

支援センターを5か所から7か所に拡充し、相談支援体制の充実や高齢者の社会参加促進を行うため「いきがい健幸ポイント事業」を行った。「障がい福祉」では、「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」の制定。亀岡市重度障害者等就労支援特別事業の創設。官民連携による就労支援を行った。

市長 「子育て」では、ワンストップ窓口であるB Come +や自然保育、「こどものあそびば」の整備、貧困対策、児童虐待防止、一人親家庭への支援などに取り組み、令和4年8月には「子どもファースト宣言」を行い、保育所、幼稚園などで、おむつの提供・処理の無料化を行った。「高齢福祉」では、地域包括

よりよい中学校給食を無償で



三上 泉 議員

から先行実施してはどうか。これらを議論する開かれた場を。

教育長 議論の場の設定も含めて、いずれも、現在検討を重ねている。

三上 中学校給食実施の手法や施設設備の概要は。自校あるいは小規模調理場方式で小中一貫の亀岡川東学園や育親学園

街路樹管理の抜本的見直しを

本的な対策が必要だ。

三上 南つつじヶ丘と東つつじヶ丘曙台4丁目の街路樹と歩道などの状態を歩いて全部調べ、住民に聞き取りも行ったが、多くの弊害がある。道路を補修していた事業者も「正直、全部抜いたほうがよい」と言うほど深刻な事態である。家の方に倒れたら市は責任を取れるのか。抜

高齢者のごみ出し支援を



奥野 正三 議員

奥野 住民の高齢化が進む中、ごみ出しが困難な高齢者を支援する制度として、

ごみの個別収集に向けた施策が必要と考えるがどうか。

市道大内線の整備計画は

奥野 令和4年6月議会で、東本梅町内市道大内線の道路整備の中で緊急性の高い区間については、全面補修に取り組み、その後の状況は。

まちづくり推進事業担当部長 今年度は、ふるさとバス大内バス停付近から大

ふるさとバスの利便性向上へ



松山 雅行 議員

に対応するのか。

松山 乗り継ぎのため1時間以上も待つ路線があり、市民アンケートで「利用しにくい」との回答が非常に多く見られた。市はアンケート結果を踏まえ、どのような

児童生徒の見守り強化を

松山 ヤングケアラー、不登校やいじめなど幅広い課題の対策や支援は、従来の教育の枠を越えた視点での気づきや把握が必要である。見守りを強化するためスクールソーシャルワーカーやカウンセラーを増員する考えは。

eスポーツを活用したまちづくりを



三宅 一宏 議員

三宅 eスポーツに若者の関心が集まっている。eスポーツを地方創生や地域活性化、子どもたちが魅力を感じるまちづくりに積極的に活用する考えは。



サンガススタジアム

国民健康保険料が高い。コロナ禍のもと単年度だけでも引き下げを

並河 国民健康保険の加入世帯は令和3年度末時点で1万2008世帯あり、そのうち滞納世帯は、914世帯である。財政調整基金は令和3年度末で5億7534万円あるため、

家計への負担が大きいため、い今こそ1世帯1万



並河 愛子 議員

くらしの資金・緊急通報装置・上下水道料金の補助などの復活、拡充を

低所得者への上下水道料金補助を復活するべきではないか。

健康福祉部長 くらしの資金貸付は平成30年度に貸付限度額を5万円に変更し、緊急通報装置も平成30年7月から有料化した。上下水道料金補助は、令和元年度まで実施していたが、各施策の見直しは考えていない。

通学路の安全対策を



平本 英久 議員

平本 安詳小学校の通学路にある速度規制の路面標示や路側帯の修繕、ポストコーン設置など、通学

ボールが使える公園の利用開始は

平本 篠町篠企業団地土地区画整理事業地内（夕日ヶ丘区、フェスタ区隣接）について、①ボール遊びができる公園の早期利用に向けた取組と交通安全対策は。②牧田川の整備についてのは考えは。

市長 ①公園は完成しているが、近隣の企業団地で建設工事が行われているため、

時の安全確保を充実するべきではないか。

教育部長 通学路の安全確保は、地域と連携を図り継続することが重要である。議員の指摘箇所の修繕や改善は、道路管理者と連携しハード、ソフト両面で取り組んでいきたい。

事業者と安全確保が図れるよう協議している。②区画整理事業の施行者と計画調整や費用負担などについて協議を進め、まちづくりと整合のとれた河川整備を行っていきたい。

市長 eスポーツが若者の関心を集めていることは認識している。スタジアム内の施設が積極的に活用されることで、これまで亀岡市を訪れるきっかけがなかった若年層の交流人口の増加が期待でき、にぎわいの創出や地域の活性化などにつながるかと考えている。スタジアムでは、ス

子育て支援日本一を目指すために保育料無料化に



西口 純生 議員

西口 子育て支援日本一を目指す亀岡市として、保育料を完

河原林町自治会前水路改修と丹波国分寺跡周辺整備の状況は

西口 地域課題2点について、河原林町自治会前の水路が増水するとグラウンドが浸水して困っている。カルバートで改修できないか。また、丹波国分寺跡を整備し、にぎわい創出に活用できないか。

まちづくり推進部事業担当部長 通称南河原と呼ばれている水路は、治水面で必要な断面の検討を行う

コンビニでは手提げビニール袋が必要！



赤坂 マリア 議員

赤坂 プラスチック製レジ袋の提供禁止が始まり、エコバッグの普及率も上がっていることから、条例の効果を一定感じている。一方、レジ袋が提供できないことがきっかけで、観光農林業問題について真剣に考える！

赤坂 担い手を含めた、本市の未来の農業・林業をどのように考えているのか。産業観光部長 本市では、現状においても高齢化や後継者不足の問題を抱えており、こうした状況の中で、地域農業を守

自然災害の伝承を防災意識の向上と防災教育用の教材として活用を



石野 善司 議員

石野 令和5年は、多大な被害をもたらした関東大震災から百年目の年である。災害の教訓は各地で記録や物語、ことわざとして伝承されており、自然災害伝承碑などとして残されている。災害に対する教訓は、万一の発災時に対する減災効果も大きいと考えるため、防災教育用の教材として活用し、市民や教職員などに周知することで、防災意識の向上に役立てる考えは。

市長 過去の大災害の伝承に向けた取組としては、昭和26年



平和台モニュメント

オープンインベーションセンター・亀岡の進捗状況は



齊藤 一義 議員

齊藤 令和4年3月議会でも可決した産学公連携の進捗状況は。また、令和5年度開業の箕面萱野駅（北大阪急行線）と亀岡市を結ぶ無人自動運転EVバスの実証実験や新たなバス路線を検討してはどうか。



実証実験コース

市長 京都先端科学大学ではEV実証実験コースや複合的セ街かどピアノの設置を生涯学習部長 JR亀岡駅に設置することは困難であるため、ガレリアかめおかピアノを設置してはどうか。

平和池跡地の活用と水害の教訓を次代に伝える取組を



菱田 光紀 議員

菱田 昭和26年7月11日に平和池ダムが決壊し、114人の命を奪う大惨事が起こった。行政として、これを記録保存し、教訓として伝える工夫が必要だ。

市長 当時は悲惨な状況であり、しっかりと歴史にとどめ、次の世代に伝えていく取組を進めていかなければならない。

菱田 東日本大震災で決壊した福島県須賀川市の藤沼ダム跡地で見つかった奇跡のアジサイの育成を通して、関係者との交流や次代へ継承し

市長 奇跡のアジサイの苗木が平成28年に本市に届き、大切に増やし、市内各所に植樹した。詳細小学校では、「未来」と言う名前を付け、大切に育ててきた。市内で育った苗木を藤沼湖自然公園で里帰り記念植樹を行った。今後同じような災害を経験してきた自治体同士の交流も深めていきたい。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

2年間の活動を終えて 広報広聴委員からのひとこと

これまでご愛読ありがとうございました。今後もお楽しみに。

平本 英久

広報紙改革は議会の説明責任能力向上につながり勉強になります。

三上 泉

この4年間で、議会だよりは大きく飛躍したと感じています。

赤坂 マリア

今後も、現場へ！より身近な議会活動に努めます！

富谷 加都子

PTA以来、こんなに真剣に取り組めて、幸せでした。

大塚 建彦

東輝中と南桑中の生徒さんとの意見交換会が良かったです。

木村 勲

分かりやすくお伝えするように取り組みできました。

三宅 一宏

誌面の改善と反省、挑戦を繰り返して参りました。

松山 雅行

行動制限などにより、思い切り広聴活動ができず残念でした。

小川 克己

市民福祉の増進に寄与する 議会を目指して

12月議会を終えて



第17期議員として最後の12月議会を終えました。今議会では、原油価格や物価の高騰など、直面する課題に対応するための事業費を盛り込んだ補正予算が提出され、付託された委員会において慎重に

審査を行いました。また、議員提案により感染症拡大や災害の発生、その他やむを得ない理由により議員が委員会の開催場所に参集できない場合に、委員会をオンラインで開催できるようにする条例・規則が改正されました。タブレット端末の有効活用を含め、今後も市民福祉の増進に寄与する議会改革を目指してまいります。

お手元に市議会だよりが届く頃には、市議会議員の改選も終わり、市議会を構成する新たな議員が決まっていることと思います。今期も残すところあとわずかとなりましたが、任期満了まで議会としての役割を果たせるよう努めてまいります。

副議長 山本 由美子

本会議を傍聴して

市民の声



関 三千子 さん
旅籠町在住

議会の傍聴は、今回で2度目になります。一般質問では、今話題になっていることや、これまで課題になっていたことについて活発に議論が行われていました。その中で、不登校支援に関する質問がありました。私には中学1年生の娘がいるので、大変興味がある内容でした。亀岡市における不登校児童数の多さに驚きましたが、適応指導教室というものがあることや、スクールカウンセラーのことなどについて話を聞くことができ、市の事業や情報を知るためにも議会を傍聴することは大切だなと感じました。これからも住みやすい亀岡市になるために、どのような議論が行われるのか、傍聴を楽しみたいと思いました。

YouTubeチャンネル開設



亀岡市議会では、本会議や各常任委員会で行っている議案審査の様子をインターネットで視聴することができ、令和4年10月から、より開かれた議会を目指し、動画共有サービスYouTube(ユーチューブ)を利用して、常任委員会(一部)の録画映像を試行配信しています。このチャンネルでは、各委員会での活動や、所管する事務について、市からの説明や質疑の様子を見ることが出来ます。

※この映像および音声は、亀岡市議会の公式記録ではありません。



2月特別議会の予定

2月13日 本会議など

3月議会の予定

2月24日	本会議(議案提案)
3月6日	本会議(代表質問)
7日	本会議(個人質問)
8日	議会運営委員会
9日	本会議(個人質問)
10日	本会議(個人質問)
13日	本会議(個人質問)
14日	本会議(個人質問)
15日	本会議(個人質問)
16日	本会議(個人質問)
17日	本会議(個人質問)
20日	本会議(個人質問)
22日	本会議(個人質問)
23日	本会議(個人質問)
24日	本会議(個人質問)
27日	本会議(個人質問)

※この日程は予定であり、変更となる場合があります。
※その他の委員会などの開催については、随時ホームページに掲載します。